



## 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年11月10日

上場会社名 株式会社あじかん 上場取引所 東  
 コード番号 2907 URL <http://www.ahjikan.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中谷 登  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 業務推進本部長 (氏名) 樋口 研治 TEL 082-277-7010  
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	19,776	2.8	765	599.5	531	288.2	281	585.0
28年3月期第2四半期	19,235	8.5	109	—	136	415.5	41	—

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △33百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 157百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	36.98	—
28年3月期第2四半期	5.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	18,909	10,019	53.0	1,316.40
28年3月期	18,557	10,143	54.7	1,332.77

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 10,019百万円 28年3月期 10,143百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,100	3.2	1,450	214.3	1,350	208.5	750	220.4	98.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	7,700,000株	28年3月期	7,700,000株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	88,961株	28年3月期	88,961株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	7,611,039株	28年3月期2Q	7,611,039株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(2) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益および雇用・所得環境に緩やかな回復基調が見られるものの、中国を始めとするアジア新興国や資源国の景気減速懸念に加え、英国のEU離脱問題などの影響により金融資本市場が不安定な動きとなるなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。

食品業界におきましては、食品の安全・安心への関心が高まる中で、円高の影響により外貨建て輸入品価格は低下したものの、個人消費に足踏みが見られるなど、一定の厳しさを残した経営環境で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは、「『経営基盤の拡大』と『新事業の成長』」をテーマとした第10次中期経営計画の2年目をスタートさせ、第一に「営業基盤の拡充と市場開拓」、第二に「商品の研究開発と技術開発、およびマーケティング力の強化」、第三に「利益構造の改革」、第四に「全社供給体制の強化と効率化」、第五に「経営効率・経営品質の向上」を重点施策とした取り組みを展開しております。

なお、セグメント別の業績につきましては、以下のとおりであります。

#### (営業部門)

営業部門におきましては、「ちらし寿司の日」など各種イベントに合わせた販売促進活動や主要都市での展示会開催、新製品およびリニューアル品を軸とした新規開拓・深耕拡大への取り組みに加え、北海道、沖縄、甲信越、北陸などの新規エリアにおいて拡販体制の強化を行い、特にスーパーマーケット業態を中心に厚焼玉子などの玉子焼類や野菜加工品類の売上が伸張いたしました。

また、山東安吉丸食品有限公司や愛康食品(青島)有限公司などの海外(中国)関係会社の業績も好調に推移したほか、米国、豪州、東南アジア諸国などへの輸出売上も伸張いたしました。中国国内におきましては、平成28年5月18日に味堪(広州)餐飲管理有限公司にて、広東省広州市にアンテナショップとしての機能も兼ね備えた飲食店「巻楽」をオープンいたしました。

さらに、通信販売チャネルを中心とした「ごぼう茶」ならびに関連製品の売上高につきましては、品揃えの充実を図るとともに、広報・広告宣伝を始めとした販売促進活動の強化により需要が増加し、前年同四半期を大幅に上回る結果となりました。

これらにより、競合他社との激しい価格競争などもありましたが、売上高につきましては前年同四半期を上回ることができました。

#### (生産部門)

生産部門におきましては、自社製造製品の売上高拡大により、高い生産稼働率を維持することができました。

また、鶏卵価格を中心とした当社主要原材料価格が安定的に推移したことや、省エネ活動や生産技術力向上による歩留まり率改善などの原価低減努力により、製造原価率は前年同四半期以下に抑えることができました。

なお、当第2四半期連結累計期間中に国際規格である食品安全マネジメントシステムFSSC22000を認証取得しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、19,776百万円(前年同四半期比2.8%増加)となり、前年同四半期実績を大幅に上回ることができました。一方、利益面につきましても、当社主要原材料価格が安定していることに加え、外貨建て輸入品の仕入価格が円高により抑制されたことで売上原価が引き下げられ、営業利益は765百万円(前年同四半期比599.5%増加)となりました。経常利益につきましては、円高進行に伴うデリバティブの時価評価損の計上などもありましたが、531百万円(前年同四半期比288.2%増加)となり、これに役員退職慰労金の贈呈などを加えた親会社株主に帰属する四半期純利益は281百万円(前年同四半期比585.0%増加)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ352百万円増加し、18,909百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ782百万円増加し、10,382百万円となりました。主な増減要因は、現金及び預金の増加810百万円、受取手形及び売掛金の増加126百万円、商品及び製品の減少248百万円などです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ429百万円減少し、8,527百万円となりました。これは主に有形・無形固定資産の減価償却の進行や、投資有価証券の時価評価が主な減少要因となったためです。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べ477百万円増加し、8,890百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ518百万円増加し、7,645百万円となりました。主な増減要因は、支払手形及び買掛金の増加288百万円、その他に含まれる為替予約の増加244百万円、賞与引当金の増加86百万円、未払法人税等の増加53百万円、役員賞与引当金の減少17百万円などであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ40百万円減少し、1,245百万円となりました。主な増減要因は、政策的な借入による長期借入金の増加133百万円、役員退職慰労引当金の減少148百万円などであります。

なお、当第2四半期連結会計期間末の借入金残高は、前連結会計年度末に比べ128百万円増加し、3,343百万円となっております。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ124百万円減少し、10,019百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上281百万円などによる増加要因もありましたが、為替換算調整勘定267百万円や、剰余金の配当91百万円、その他有価証券評価差額金56百万円が主な減少要因となったためであります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.7ポイント低下し、53.0%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の四半期末残高は、前連結会計年度末に比べ810百万円増加し、2,257百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、1,251百万円(前年同四半期比291.3%増加)となりました。これは、税金等調整前四半期純利益390百万円に加え、減価償却費284百万円、売上債権・たな卸資産・仕入債務を合計した運転資本面での資金獲得349百万円などが主な内容となっております。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、383百万円(前年同四半期比93.5%増加)となりました。これは、生産設備の増強投資・メンテナンス投資などが主な内容となっております。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、8百万円(前年同四半期比92.2%減少)となりました。これは、配当金の支払91百万円、リース債務の返済34百万円、長期借入金の純増加額128百万円が主な内容となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間までの業績は、売上高は、販売・価格競争が厳しさを増すなか、主に厚焼玉子を中心とした玉子焼類やごぼう茶などの自社製造製品の需要が拡大し、当初予想(平成28年5月13日公表)を上回る結果となりました。また、利益面につきましても売上高の拡大効果に加え、当社主要原材料である鶏卵・魚肉すり身価格が当初の想定以下で推移したことや、生産稼働率の向上、経費抑制効果などにより、当初予想を大幅に上回る結果となりました。

なお、通期の業績予想につきましては、業績に大きな影響を与える冬場の原材料価格の動向や、為替、株価、原油価格など、先行き不透明で流動的な要素も多くありますが、当第2四半期連結累計期間までの状況を勘案し、当初予想を変更しております。詳細につきましては、平成28年11月1日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### 会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

また、セグメント情報に与える情報は軽微であるため記載を省略しております。

### (2) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,456,914	2,267,164
受取手形及び売掛金	4,781,614	4,907,893
商品及び製品	2,174,600	1,925,723
仕掛品	10,851	9,108
原材料及び貯蔵品	973,173	970,389
繰延税金資産	138,086	147,378
その他	108,441	163,019
貸倒引当金	△43,387	△7,921
流動資産合計	9,600,296	10,382,755
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,893,377	1,808,187
機械装置及び運搬具(純額)	1,255,315	1,194,511
土地	3,371,100	3,371,100
リース資産(純額)	75,948	77,284
その他(純額)	271,551	308,638
有形固定資産合計	6,867,293	6,759,722
無形固定資産		
ソフトウェア	64,428	54,826
リース資産	31,123	25,484
その他	34,419	28,287
無形固定資産合計	129,971	108,598
投資その他の資産		
投資有価証券	918,276	843,202
長期前払費用	3,497	3,123
繰延税金資産	3,250	23,459
その他	1,061,749	818,222
貸倒引当金	△27,014	△29,206
投資その他の資産合計	1,959,759	1,658,800
固定資産合計	8,957,024	8,527,121
資産合計	18,557,321	18,909,877

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,685,460	2,974,190
短期借入金	2,654,000	2,649,000
リース債務	59,941	55,569
未払法人税等	108,995	162,439
賞与引当金	269,000	355,000
役員賞与引当金	31,484	13,936
その他	1,318,504	1,435,297
流動負債合計	7,127,385	7,645,432
固定負債		
長期借入金	561,000	694,000
リース債務	78,463	75,961
役員退職慰労引当金	390,659	241,840
退職給付に係る負債	205,366	182,664
資産除去債務	49,167	49,305
その他	1,500	1,500
固定負債合計	1,286,157	1,245,272
負債合計	8,413,543	8,890,705
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,102,250	1,102,250
資本剰余金	1,098,990	1,098,990
利益剰余金	7,441,539	7,631,625
自己株式	△64,300	△64,300
株主資本合計	9,578,479	9,768,565
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	285,171	228,680
繰延ヘッジ損益	△20,058	△24,606
為替換算調整勘定	369,084	101,651
退職給付に係る調整累計額	△68,898	△55,118
その他の包括利益累計額合計	565,298	250,607
純資産合計	10,143,777	10,019,172
負債純資産合計	18,557,321	18,909,877



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	19,235,648	19,776,318
売上原価	14,855,278	14,511,023
売上総利益	4,380,370	5,265,295
販売費及び一般管理費	4,270,873	4,499,377
営業利益	109,496	765,918
営業外収益		
受取利息	756	1,218
受取配当金	10,377	11,602
持分法による投資利益	—	9,733
為替差益	165,034	—
その他	12,552	28,533
営業外収益合計	188,720	51,088
営業外費用		
支払利息	14,053	11,790
為替差損	—	18,594
長期為替予約評価損	140,530	237,468
持分法による投資損失	4,888	—
その他	1,829	17,667
営業外費用合計	161,303	285,521
経常利益	136,913	531,485
特別損失		
固定資産除却損	1,002	2,514
役員退職慰労金	—	138,816
特別損失合計	1,002	141,330
税金等調整前四半期純利益	135,911	390,155
法人税、住民税及び事業税	88,007	119,105
法人税等調整額	6,818	△10,368
法人税等合計	94,826	108,736
四半期純利益	41,085	281,418
親会社株主に帰属する四半期純利益	41,085	281,418

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	41,085	281,418
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	73,538	△56,490
繰延ヘッジ損益	△3,345	△4,547
為替換算調整勘定	26,924	△204,369
退職給付に係る調整額	10,201	13,779
持分法適用会社に対する持分相当額	8,600	△63,062
その他の包括利益合計	115,919	△314,691
四半期包括利益	157,004	△33,272
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	157,004	△33,272
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	135,911	390,155
減価償却費	277,312	284,606
退職給付費用	15,015	19,815
賞与引当金の増減額(△は減少)	52,000	86,000
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△11,545	△17,547
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	9,062	13,996
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△11,901	△22,701
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△33,933	△33,272
持分法による投資損益(△は益)	4,888	△9,733
受取利息及び受取配当金	△11,133	△12,821
支払利息	14,053	11,790
有形固定資産除却損	1,002	2,514
役員退職慰労金	—	138,816
売上債権の増減額(△は増加)	△355,336	△140,160
たな卸資産の増減額(△は増加)	△220,971	188,551
仕入債務の増減額(△は減少)	783,550	300,992
未収入金の増減額(△は増加)	15,484	△1,081
未払金の増減額(△は減少)	17,956	25,160
未払消費税等の増減額(△は減少)	△222,205	46,797
その他	99,463	146,206
小計	558,675	1,418,082
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△238,823	△79,841
役員退職慰労金の支払額	—	△86,554
営業活動によるキャッシュ・フロー	319,851	1,251,687
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△4,403	△4,592
有形固定資産の取得による支出	△175,249	△375,119
無形固定資産の取得による支出	△13,101	△5,606
利息及び配当金の受取額	11,132	12,820
その他	△16,701	△11,312
投資活動によるキャッシュ・フロー	△198,324	△383,810
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	200,000	—
長期借入れによる収入	—	300,000
長期借入金の返済による支出	△172,000	△172,000
利息の支払額	△13,061	△10,913
リース債務の返済による支出	△32,731	△34,195
配当金の支払額	△91,294	△91,367
財務活動によるキャッシュ・フロー	△109,087	△8,477
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,122	△49,149
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	16,562	810,249
現金及び現金同等物の期首残高	1,316,179	1,446,914
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,332,742	2,257,164

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	営業部門	生産部門			
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	19,235,648	—	19,235,648	—	19,235,648
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	1,236	6,146,501	6,147,737	△6,147,737	—
計	19,236,884	6,146,501	25,383,385	△6,147,737	19,235,648
セグメント利益又は損失(△)	1,428,619	△117,488	1,311,131	△1,201,635	109,496

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△1,201,635千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,196,110千円及びたな卸資産の調整額△2,896千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	営業部門	生産部門			
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	19,776,318	—	19,776,318	—	19,776,318
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	692	6,530,270	6,530,963	△6,530,963	—
計	19,777,011	6,530,270	26,307,281	△6,530,963	19,776,318
セグメント利益	1,577,568	295,565	1,873,134	△1,107,216	765,918

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,107,216千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,100,603千円及びたな卸資産の調整額△6,691千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。